

論文内容要旨

論文題名

Factors affecting the selection of denture adhesive or oral moisturizers by wearers of maxillary complete dentures

(上顎全部床義歯装着者の義歯安定剤と口腔保湿剤の選択に影響を及ぼす因子)

掲載雑誌名

Journal of Prosthetic Dentistry (投稿中)

高齢者歯科学 椿田 健介

内容要旨

【目的】超高齢社会を迎え、オーラルフレイル患者の多くは、口腔内に多くの問題を抱えており、中でも義歯の不適合、口腔乾燥症により、義歯の維持が困難になる場合が多い。義歯安定剤（以下、安定剤）を使用する患者も多いと推測されるが、清掃性や義歯機能への影響が懸念される。そこで義歯安定剤の代わりに、口腔保湿剤（以下、保湿剤）の使用を推奨することがある。そこで、本研究では、上顎全部床義歯装着者を対象に、安定剤と保湿剤を使用させ、その選択基準に影響を及ぼす因子を明らかにすることを目的とした。

【方法】被験者は同意を得た 25 名の上顎全部床義歯装着者とし、義歯安定剤 1 種類と口腔保湿剤 3 種類（リキッド、ジェル、スプレー）を渡した。使用期間はそれぞれ 3 日間とした。安定剤と保湿剤のそれぞれの使用感（使用后アンケート）と最終的に何を使いたいか（最終アンケート）を調査した。本研究は、昭和大学歯学部医の倫理委員会の承認（2013-043）を得て行った。

【結果】使用后アンケートの結果から、安定剤は「安定」「咀嚼」などで有意に高評価であり ($p < 0.05$)、最終アンケートで安定剤を選択した被験者は 14 名、保湿剤を選択した被験者は 11 名であった。この 2 群を比較したところ、安定剤の選択者は安定と違和感の、保湿剤選択者は乾燥感の評価が高かった ($p < 0.05$)。

測定結果の統計比較は Friedman の検定と Wilcoxon の符合順位検定を用いた。

【結論】：以上の結果から、安定剤と保湿剤の選択には、使用した際の安定、違和感、乾燥感が関与することが示唆された。